

都道府県における事後活動組織の活動状況(平成22年度)

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員:会員、一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容(200字まで)
独自の国際交流事業	北海道青年国際交流機構	5月29日	和み亭	12名(2名)	2人		蕎麦打ちを体験し、合わせて日本の食文化を体験してもらうことを目的とした定例行事
独自の国際交流事業	北海道青年国際交流機構	7月19日	赤井川村	10名(1名)	1人		北海道の自然を体験してもらうことを目的とした定例行事
独自の国際交流事業	北海道青年国際交流機構	9月25日	和み亭	11名(1名)	1人		山菜取りを体験し、合わせて日本の食文化を体験してもらうことを目的とした定例行事
独自の国際交流事業	北海道青年国際交流機構	10月10日	小出教授宅	12名(8名)	8人		学校で使用し、その後不要となったリコーダーを海外に寄贈するもので、会の独自事業として3年継続して行っている事業
内閣府青年国際交流事業の	内閣府、HIF(函館)	10月28~31日	函館市内各所	2名			函館のHIFが受け入れた「東南アジア青年の船」事業に、北海道IYEOとして協力した。
独自の国際交流事業	北海道青年国際交流機構	平成23年1月15日	インド、ネパール料理 ZERO MILE	12名(3名)	3人		ネパールの料理体験及びダンス等を通じて、異文化交流を体験してもらうことを目的とした、定例行事
独自の国際交流事業	北海道青年国際交流機構	平成23年3月19日	エルプラザ	10名程度			中国の家庭料理作りを体験し、あわせて日本と中国の文化比較等について中国留学者から話を聞き国際理解を深めることを目的とした、定例行事
内閣府青年国際交流事業及びIYEO広報活動	内閣府政策統括官(共生社会政策担当)、日本青年国際交流機構、(財)青少年国際交流推進センター、岩手県青年会	7月3(土)~4日(日)	後藤伯記念公民館	会員及び関係者名57名、一般2名(外国人1名)	1人	1人	「めさそう 育てよう 未来に輝く(国際人 ~北緯39度・奥州市からの発信~)」のテーマの基に、基調講演、分科会等を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	岩手県青少年育成協議会	9月5日(日)	岩手県青少年会館	約1000名:会員2名、一般1000名		1,000人	親子ふれあい広場「観武蔵原まつり」への参加、協力
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	岩手県、岩手県青年国際交流機構	10月28(木)~31日(土)	岩手県庁、あざ開、盛岡中央高等学校、りんご園、東家				「東南アジア青年の船」事業受入実施、協力を行った。
他団体の交流事業への参加、	(財)岩手県青少年会館	平成23年2月10日(金)	岩手県青少年会館	約70名(会員6名)		64人	県内で活動する青少年団体が会し、課題、展望を行った。当機構は今年度内閣府事業のハフ配布など広報も行った。交流会では県知事も交え親睦をはかった。
独自の国際交流事業	岩手県青年国際交流機構	平成23年3月12日(土)	いわて県民情報交流センター				県内在住の外国人をスピーカーに招き、それぞれ国の紹介、生活様式の違いや日本暮らしでの発見など生の声を聞き、交流することで各国理解と友好の促進を目指す。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	岩手県、岩手県青年国際交流機構	平成23年3月12日(土)	いわて県民情報交流センター				内閣府青年国際交流事業紹介及びIYEOの活動紹介を行う。
他団体の交流事業への参加、協力	宮城県青年会議	4月24日(土)	宮城県青年会館	会員:2名			宮城青年国際交流機構が加盟している青年団体連絡会の総会に参加した。
他団体への交流事業の参加、協力	宮城県青年会館・宮城青年国際交流機構	6月20日(日)	丸森町	会員:3名			青年交流バスツアーの実施に当たり、国際交流Verの企画協力や外国青年の通訳を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	地球ユエスタ実行委員会	7月19日(月)	仙台市国際センター	会員:6名 来場者多数			県内最大の国際交流イベントに初参加した。ブース出展し、広く内閣府国際交流事業や宮城青年国際交流機構の活動をPRした。
他団体への交流事業の参加、協力	宮城県青年会館・宮城青年国際交流機構	8月29日(日)	石巻市	会員:3名 一般:15名		15人	青年交流バスツアーの実施に当たり、国際交流Verの企画協力や外国青年の通訳を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	青少年のための宮城県民会議	9月22日(水)	石巻市立石巻中学校	会員:1名			「少年の主張」の審査員として、協力した。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	宮城青年国際交流機構	12月13日(月)	宮城学院女子大学、東北大学	内閣府1名、センター1名、会員6名、一般30名		30人	内閣府と(財)青少年国際交流推進センター担当者による事業説明会を2大学において開催した。また今年度の参加青年からの抱負紹介、既参加青年からの体験活動紹介をし、これから希望する学生へのアドバイスを行った。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	「青年社会活動コーディネーター育成プログラム」宮城県受入実行委員会	平成23年1月23日(日) 13:00~16:00	宮城県青年会館	実行委員:10名、県担当者1名、ホストファミリー25名			受入時のホームステイ実施に際し、「青年社会活動コーディネーター育成プログラム」参加報告と発達障害について理解を深める勉強会を行った。その後、ホストファミリー説明会と交流会を実施した。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	「青年社会活動コーディネーター育成プログラム」宮城県受入実行委員会	平成23年2月15(火)~2月20日(日)	県庁ほか				招へい外国人青年13名受入プログラムを実施、表敬、県内の障害者施設訪問(含NPO施設)、関係者との意見交換、地元青年とのセミナーを通じて、参加者全員が、宮城県の現状と課題、各国の取組を共有し、目指すべき「共生社会」のあり方や実現方法を考え、コアになるリーダーの能力の向上及びネットワークの形成を図ることを目的として取り組んだ。
独自の国際交流事業	宮城青年国際交流機構	平成23年3月26日(土) 13:00~17:00	宮城野区体育館「元気フィールド仙台」				国際交流+スポーツのイベントを開催。スポーツを通じて、留学生や外国人のみならず仲間になることを目的としている。みんなで楽しめる「運動会」のような競技をする。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	11月14~17日	秋田市、仙台市				中国団員と共に行動し、親交を深めた。数人のグループに分かれて農家宅に向かい、きりたんぽろ体験を行ったことが好評だった。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	平成23年1月13(木)~16日(日)	山形市ほか	会員11名、LY26名		26人	「世界青年の船」事業の受入れ。
独自の国際交流事業	船と翼の会ふくしま	8月11(水)~16日(月) 5泊6日	パンコク、アユタヤ(タイ)	会員:2名			日本とタイの友好発展の下地を作るため、「まずはお互いを理解する」ことを目的にタイにスタディツアーを実施した。施設訪問、ホームステイ、ディスカッション、イローハットプロジェクト(タイの子どもたちに黄色い帽子を贈呈する活動)を実施。テーマは「異文化理解(相互理解を深め、協働し、友情を深める)」
内閣府の青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	船と翼の会ふくしま	10月29(木)~31日(日)	土湯温泉、福島市立清明小学校、福島大学、福	会員:6名、一般250名		250人	日本、アジア青年交流プログラム(県知事表敬訪問、歓迎会、日本文化体験宿泊、福島大学での交流プログラム、ホームステイ)
他団体の交流事業への参加	ふくしま国際理解教育ネットワーク(福島県、福島県教育委員会、(財)福島県国際交流協会、JICA二本松、ふくしま海外協力隊の会)	12月11(土)~12日(日)	JICA二本松訓練所(二本松市)	会員2名 全体参加者:180名	178人		自主セッションで、当会及び内閣府の事業を紹介するブースを出展。意欲の高い参加者たちに会のPR及び次年度以降の派遣事業への参加者を募った。
独自の国際交流事業	船と翼の会ふくしま	平成23年2月6日(日)	福島市アクティブシニアセンターA、O、Z(アオウゼ)(福島市)	会員3名、一般30名		30人	日本人に馴染みの薄いイスラム教の考え方や生活習慣の意味などの正しい理解を促す。正しい理解を進めることで、異文化の中にも人と共感できる部分があることを知ってもらう。調理や食事を共にすることにより親近感を得てもらい、異文化との壁を低くする。
独自の国際交流事業	船と翼の会ふくしまASSEAY Thailand	通年	福島県内及びタイ国内	-			福島県内のNGO「明るい社会づくり運動協議会」や「ふくしま地球市民ネットワーク」や県内の小学校の協力のもと、使い終わった小学1年生の黄色い帽子を回収し、タイの小中学生に贈呈する事業、8月に行った夢企画〜福島、タイ交流プログラムスタディツアー実施時及び「東南アジア青年の船」事業期間中にASSEAY THAILANDのメンバーに帽子を贈呈。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	4月~9月	水戸市 茨城県青少年会館	会員:2名 一般:12名		12人	茨城県青年団体連盟の理事会に出席した。4月~9月で5回開催。
独自の国際交流事業	茨城県青年国際交流機構	5月23日(日)	水戸市 茨城県青少年会館	会員:2名 一般:6名		6人	(財)青少年国際交流推進センターの川嶋伸明さんによる、韓国文化とハンガル講座を開催。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	5月30日(日)	水戸市 茨城県青少年会館	会員:4名 一般:20名		20人	茨城県青年団体連盟の総会に出席し、昨年度活動報告と決算、今年度活動予定や予算を審議。
他団体の交流事業への参加、協力	平成22年度いばらき若者塾事業実行委員会	8月20(金)~24日(火)	韓国ソウル	会員:1名 一般:16名		16人	平成22年度茨城県いばらき若者塾事業の海外研修に随行。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	11月13(土)~14日(日)	水戸市 茨城県立青少年会館	会員:20名 一般:約20名		20人	北関東の群馬県、栃木県、茨城県の青年が一堂に集い、講演の聴講、青年活動における情報交換、討議等を実施。
内閣府の青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	茨城県青年国際交流機構	平成23年1月13(木)~16日(日)	つば市市内飲食店	会員:15名 一般:約100名		100人	第22回「世界青年の船」事業、茨城地方プログラムを実施。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	平成23年1月29日(土)	水戸市 茨城県立青少年会館	会員:3名 一般:約30名		30人	茨城県の青少年団体が一堂に集う、質疑交換会を開催した。同時に、写真展を開催した。
他団体の交流事業への参加、協力	平成22年度いばらき若者塾事業実行委員会	平成23年2月19日	水戸市 茨城県青少年会館	会員:1名 一般:16名		16人	平成22年度茨城県いばらき若者塾事業の第4回研修会と閉校式に参加。
独自の国際交流事業	茨城県青年国際交流機構 & 茨城県青年団体連盟	平成23年3月27日(日)	つば市内	-			茨城県内在住の外国青年と共に日本文化を体験する交流事業を実施
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	平成22年10月~平成23年3月	水戸市 茨城県青少年会館	会員:2名 一般:12名		12人	茨城県青年団体連盟の理事会に出席。平成22年10月~平成23年3月で4回開催。
他団体へ交流事業への参加、協力	財団法人栃木県青年会館	5月21日(金)	栃木県青年会館 コンサール	会員:1名			県内他団体との親睦を深めるための交流会に参加した。
他団体の交流事業への参加、協力	財団法人栃木県国際交流協会 JICA地球ひろば	平成22年10月2日(土)	わくわくグランティ 科学ランド	会員:2名			栃木県内の国際交流を目的に掲げ活動している青少年団体と地元住民とのふれあいの場を設ける趣旨のイベントに参加。
他団体の交流事業への参加、協力	ふれあいフェスティバル実行委員会 財団法人栃木県青年会館	平成22年10月24日(日)	栃木県青年会館 コンサール	会員:1名			栃木県内の青少年団体と地元住民とのふれあいの場を設ける趣旨のイベントに参加。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れに開	栃木県青年会館	平成23年1月8日(土)	栃木県青年会館 コンサール	会員:4名			新年の挨拶及び、県内の青少年団体が交流を図る異文化交流会に参加。
他団体交流事業への参加	上海世博会協調局・杭州市旅游委員会	6月18(金)~21日(日)	中国 上海市・杭州市	参加人員24名(うち会員2名)		22人	上海万博会場内くアジヤ広場にて郷土芸能八木節の披露を行った。また、杭州市において中国民間芸術団との文化交流活動を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉県青少年団体連絡協議会	6月23日 18:30-19:30	浦和地方庁舎別館	会員1名			埼玉県内にある青少年団体が構成する協議会。前年度事業報告、決算報告、役員改選、今年度事業計画、予算について協議し、昨年度の活動報告、質疑と意見交換、施設見学等を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉県青少年団体連絡協議会	7月6日		会員1名			

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員:会員、一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容(200字まで)
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉県青少年団体連絡協議会	7月27日	北浦和	会員1名			今年度の幹事団体選任、昨年度実施した国際協力事業についての報告を行った。
内閣府青年国際交流及びIYEOの広報活動	内閣府政策統括官(共生社会政策担当)、日本青年国際交流機構、(財)青少年国際交流推進センター、埼玉県青年会	11月27(土)~28(日)	ナチュラルファームシティ農園ホテル	約300名		300人	絆をつなごう、彩(さい)の国から~Wings for the Future~のテーマに、基調講演、分科会、地域理解研修等を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉県青少年団体連絡協議会	平成23年2月5日	浦和ワントンホテル	会員3名			研修会及び交流会。12団体の活動紹介あり。
他団体の交流事業への参加、協力		平成23年2月7日	上尾市役所	会員1名			テーマに基づいた意見交換
独自の国際交流事業		平成23年1月29日	船橋市中央公民館	会員7名、一般12名(うち外国人7名)	7人	5人	「日本・韓国青年親善交流」事業の既参加青年である韓国人のプロ料理人を講師に迎え、参加者全員で韓国料理作り挑戦した。会員家族のほか、他県IYEOからの参加もあり、料理作りを通じて交流を深めた。
独自の国際交流事業	東京都青年国際交流事業	7月4日(日)	キューバンカフェ	会員:24名 一般:5名		5人	キューバの代表的な料理とキューバのお酒でランチ後、日本のキューバンダンスの第一人者であるYasui先生をお招きしてサルサ体験レッスンを行った。参加者はペアを組む、和気あいあい笑顔いっぱいダンスに興じた。
独自の国際交流事業	東京都青年国際交流事業	8月28日(土)	日米会話学院	会員:22名(うち外国人1名) 一般:2名	1人	2人	会員のための英語ディスカッション講座。講師のDamon Irvineさん(第11回・第17回(NL)「世界青年の船」事業)によるアイスブレイクで緊張をほぐし、「異文化理解」をテーマに6つの質問ごとに4~5人の小グループを作ってディスカッション。参加者からは「少人数グループでディスカッションができ、自分の考えをまとめる練習にいいと思った」「とてもためになった。ソフトな話題も終盤にはどんどん難しくなっていたがすんなりと入っていた」「とても有意義な時間を過ごせた」と好評だった。既参加青年より最後にこれから事業に臨む人に向けたワンポイントアドバイスをしもらった。
独自の国際交流事業	東京都青年国際交流機構	10月16日(土)	日米会話学院	会員:35名、一般:7名(うち外国人3名)	3人	4人	2回目のテーマは「日本を知ろう」、講師は村本由香さん(第15回、第17回「世界青年の船」事業)とRoyce Leongさん(オーストラリア出身)。まずはアイスブレイクで緊張をほぐし、小グループを作ってディスカッション。前半はカジュアルな雰囲気です「日本の好きな季節」「ユニークなところ」などを話し合い、後半はグループチェンジをしてもう一歩踏み込んだ難しめのトピック①Whaling ②English education in elementary schools ③Immigration in Japan ④Image of Japanを議論した。
独自の国際交流事業	東京都青年国際交流機構	11月13日(土)	日米会話学院	会員:30名 一般:4名(うち外国人5名)	5人	4人	3回目のテーマは「持続可能な人間関係~Human Relationship Sustainability~」、講師はChew Kim Soonさん(第26回東ア船)、齋藤珠恵さん(第10回世界船他)。アイスブレイク後、小グループでディスカッション。講師が実際に体験したシチュエーションを基に、各グループでどのようなsustainable relationshipを構築できるかケーススタディを行った。①How to pay checks at restaurant、②how do you behave at office、③family relationship、④living environment、後半はIs it possible to establish a sustainable relationship?という四つのシチュエーションの問いに対し二つのグループに分かれ、ディベートを行った。
広報 独自の交流事業	東京都青年国際交流機構	平成23年2月26日(土)	日米会話学院				
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	神奈川県青年国際交流機構	4月3(土)~17日(土)	横浜市青少年交流センター	推計のべ700名以上 (根拠:4月同センター来場者数1日平均500名X10%以上X開		700人	昨年4、10月同センターで開催した写真展の広報効果が大きかったため、今年3月の『かながわ報告会』にて展示された物を、一年を通じて利用できるように展示用に組み直し、青少年向けに同事業の広報活動を行った。
独自の国際交流事業、広報	神奈川県青年国際交流機構	6月27日(日)	鶴岡八幡宮・茶寮の上の	会員12名、家族一般4名		4人	一般的に、神社へお参りには行っても昇殿祈禱を受ける機会がないため、会長がその崇敬者へ入っている鶴岡八幡宮への団体参拝・祈禱を行う事となった。宮司以下神職の特別ご配慮の下、拝殿最前列にてご祈禱を受けた後、当機構活動目標成就祈願のおれを拝受、鶴岡文庫にて、宮司に準ずる職位「禰宜(ねぎ)」による講話を拝聴し、日本文化及び日本史の理解を深めた。場所を移動して和食川崎市国際交流センターにて開催される『2010インターナショナル・フェスティバル inかわさき』に、昨年同様参加した。写真展と併せて、各事業報告冊子や活動記録アルバム等の閲覧による広報宣伝も行った。また今年は、館内ミニステージにて『2010年報告発表』や副会長ご子息の川崎市作文コンクール入選作品(昨年度当フェスティバルに参加して)朗読を行い、目と耳の両面からも訴えかけることができた。
他団体の交流事業への参加協力、及び内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	(財)川崎市国際交流協会、民間交流団体連絡協議会(神奈川県青年国際交流機構)	7月4日(日)	川崎市国際交流センター	推計2,900名以上 (根拠:主催者発表来場者数14,500名X20%以上)		2,900人	毎年の既参加青年から帰国後に要望された『日本伝統文化体験事前研修』を、有意義で学びの多い企画として実施すべく、小学校で「ポラントピア茶道体験・茶道指導」を行っている茶道教授(マナー講師ほか多彩な活動をされている方)にお願ひし、合格者内定者が『小学生より小学生よりのお点前にて正式な形に近いお茶体験』を行う事によって、日本代表として刺激を受けてもらい、参加意欲を増進させる意図は成功したと思う。
独自の国際交流事業、他団体の交流事業への参加協力、及び内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	横浜YMCA、神奈川県青年国際交流機構	8月30日(月)	横浜YMCA学院専門学校日本語科	会員2名、外国人生徒13名、講師・職員6名	13人	6人	横浜YMCAさんとの近年良好な協力関係のなかで、日本語学科履修外国人生徒の当機構企画への参加依頼のみで行っていたが、今年YMCA側から『日本伝統文化体験出前授業』を行ってほしい旨の打診があり、予ケースとして三役が出向いて『折紙紙講習』を実施した。この成果により、今年度後半YMCAと共催で『多文化共生プログラム』の開催予定に繋がった。
他団体へ交流事業への参加、協力、及び事業報告会、説明会	横浜市な中区区民センター(中区地域振興課)	10月11日(月、祝)	な中区民活動センター全館	推計:43名以上 (根拠:主催者発表来場者数430名÷2(二部制)X20%以上)		43人	昨年度まではIYEO全国大会直近又は同一日程の開催が多く、不参加であった祭りに今年度初参加した。9月に事業参加したばかりの航空機派遣既参加青年を中心に、写真展示物を準備し、来訪者に対して個別に事業、展示説明及び帰国報告を行うブースを出展した。
独自の国際交流事業、及び他団体へ交流事業への参加、協力、	神奈川県青年国際交流機構、横浜YMCA(共催)	平成22年12月11日(土)	横浜市青少年交流センター、野毛山地区及び桜木山周辺	会員:5名、一般21名(うち外国人:17名)	17人	4人	横浜YMCA学院専門学校日本語科在籍生を主な対象に、日本文化を体験し、かつ学習した日本語をその交流の中で使う機会を提供する旨の企画への協力を依頼された。直近若手からの外国人との交流希望と合致したため受諾し、他の事業で面識のある茶道教授に依頼し、午前の茶道体験部分を開催。午後は小グループに分かれ、横浜の歴史物の問題に解答しながら日本語で交流し、外国の方へ日本、横浜についての理解を深める一助となった。
参加希望者への支援、事業報告会及び説明会、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	神奈川県青年国際交流機構	12月23日(木、祝)	川崎市麻生区梅本副会長宅	会員:8名			平成22年度既参加青年による報告会進捗状況が思わしくなく、事業説明会、報告会準備や内容検討に助言が必要と考え、近年報告会を行った既参加青年へも声をかけ、アドバイスを開催した。事業説明会、報告会各担当が決まり、早速準備に入ることができた。更に感想提出、翌年度受給者へのアドバイスを開催に向けた話し合いもわれ、既参加青年の事後活動意識の向上に役立った。
会員親睦会、事業報告会及び説明会	神奈川県青年国際交流機構	12月23日(木、祝)	川崎市麻生区梅本副会長宅	会員:10名、一般5名		5人	ここ数年ロイヤルオブブロンクス利用に力を入れているが、副会長のご厚意により、今年より参加しやすいようにホームパーティーというカジュアルな雰囲気で開催した。パーティーの中では平成22年度参加青年への個別アドバイスも行われ、親睦以上の成果が得られた。
独自の国際交流事業、他団体の交流事業への参加協力、及び内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	神奈川県青年国際交流機構、横浜YMCA(共催)	平成23年2月5日(土)	北鎌倉浄智寺及び鎌倉市内	会員:8名、一般17名(うち外国人:6名)	6人	11人	横浜YMCA日本語習得学生及びYMCAに通う日本人を対象に、座禅体験及び鎌倉の寺社仏閣を巡る企画への協力を依頼された。以前当機構主催で開催した時にお世話になっている浄智寺ご住職に依頼し、午前中に座禅体験を実施。精進料理弁当を摂り、午後はグループに分かれ、鎌倉七福神巡りを行いながら問題に解答し、外国の方及び鎌倉市以外の方が、歴史あるまち鎌倉の良さを理解するお手伝いができた。
独自の国際交流事業、他団体の交流事業への参加協力、及び内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	横浜YMCA、神奈川県青年国際交流機構	平成23年2月14日(月)	横浜YMCA学院専門学校日本語科	会員2名、外国人生徒10名、講師、職員6名		6人	横浜YMCAさんと各種コラボ企画を実施しているなか、8月に行った『日本伝統文化体験出前授業』の第二弾を行って欲しい旨の打診があり、三役が出向いて『折紙紙講習(上級編)』を実施した。今年度各種コラボ企画のYMCA側の評価次第で、翌年度YMCAとの『多文化共生プログラム』の定期コラボ企画の開催に繋がるものと確信している。
事業報告会及び説明会、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	神奈川県青年国際交流機構	平成23年3月12日(土)<予定>	横浜市青少年交流センター501号室	50名程度		50人	平成22年度内閣府青年国際交流事業神奈川県既参加青年による事業説明会、報告会を開催することによって、同事業及びIYEOの広報活動を行い、国際協力活動や地域貢献活動を始めた事後活動意識の向上に役立っている。
広報、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動、他団体の交流事業への参加、協力	国際交流フェスティバル2009 in Toyama 実行委員会	11月13(土)~14日(日)	富山市国際交流センター&Ciビル	会員8名、一般数百名(外国人数十名)			国際交流フェスティバルにてブースを出展し活動、事業紹介、ホストファミリーの募集を行った。
独自の国際交流事業、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	富山県青年国際交流機構	平成23年3月13日(日)10:00~15:00	富山県民会館				料理交流会では富山在住の外国の方々を迎え料理を作りながら交流する。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	内閣府政策統括官(共生社会政策担当)、日本青年国際交流機構、(財)青少年国際交流推進センター、石川県青年会	10月16(土)~17日(日)	ホテル兼六	会員及び関係者42名			「金沢に、来まっし 見まっし 語りまっし」のテーマの基に、基調講演、分科会等を行った。
他団体への交流事業への参加、協力	福井県青少年団体連絡協議会	4月30日(金)	AOSSA	会員1名(各団体代表者8名)		8人	福井県下の各青少年団体が集う連絡協議会にて、連携について協議し、今年度の方針を作成、決定した。
他団体の交流事業への参加、協力	山梨英和幼稚園	平成23年2月8日	山梨英和幼稚園	会員2名、外国人2名、園児105名、保護	2人	105人	昨年の「世界青年の船」事業、地方プログラムで外国青年と交流した園児たち、ぜひ、継続したかたちで国際交流会を開きたいと相談を受け、プログラム作りや講師派遣の手配を完了。
他団体の交流事業への参加、協力	善光寺花回廊実行委員会	5月1(土)~3日(月)	長野市中央通り	12名		12人	まちづくりの一環として行われている、長野市の花回廊実行委員会主催チューリップの花びらで飾る花キャンパスにチームで参加した。デザインはメリーシアに在住の元留學生に頼み、メールにて受領した。

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員:会員、一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容(200字まで)
独自の国際交流事業	長野県青年国際交流機構	7月4日(日)	信州大学工学部体育館	50名(留学生20名)	20人	30人	南アフリカ共和国サッカーワールドカップ開催記念に合わせ、地元青年と留学生との交流を目的に「フットサルによる交流プログラム」を企画、実施した。ゲーム終了後は、懇親会も実施した。
他団体の交流事業への参加、協力	ながのびんずる祭り実行委員会	8月7日(土)	長野市中央通り	6名		6人	外国人の個人や国際交流団体が登録する「国際連」に入り、会員と一緒に踊り、長野IYEOをPRした。
独自の国際交流事業	長野県青年国際交流機構	9月4日(土)	松本市上高地	36名(内留学生18名)	18人	18人	地元の信州大学を中心とした留学生との交流を深めるため、上高地バスツアーを企画・実施した。上高地では、散策などを楽しみ、充分な交流が行われた。
他団体の交流事業への参加、協力	信州大学工学部有志	10月24日(日)	信州大学工学部	会員5名 一般30名	10人	20人	信州大学留学生や長野県青年国際交流機構の自主事業にて参加してくれた学生と交流を深めた。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	「東南アジア青年の船」事業受入実行委員会	10月28(木)~31日(日)	長野県内	会員16名 一般20名	10人	10人	市内観光は、善光寺。日本アセアン交流プログラムは、戸隠にてそば打ちと信州大学教育にてディスカッションを行った。
他団体の交流事業への参加、協力	長野県青少年対策本部 長野県青少年育成県民会議 諏訪市	11月6日(土)	諏訪市文化センター	会員8名(うち外国人1名) 一般(青少年団体など)約700名	1人	700人	長野県民会議より依頼され、長野県内で行われている青少年団体の代表として、現状報告を長野県青少年健全育成県民大会に5分ほどさせていただいた。演題「長野県青年国際交流機構の活動報告」内容、内閣府事業、IYEO組織、長野県青年国際交流機構の特徴的な活動紹介を会員8名で分担して発表した。
他団体の交流事業への参加、協力	NAGANO映画祭実行委員会	11月13日(土)	長野口キーン(映画館)	会員5名(うち外国人1名) 一般多数	1人		メンバーの会員と共に長野映画祭のメンバーのドキュメンタリー「ピルマVJ 消された革命」を鑑賞。同じく同国の写真展も鑑賞した。
他団体の交流事業への参加、協力	信州大学工学部留学生会	12月3日(金)	信州大学工学部	会員3名 一般多数 (大学関係者、留)			留学生の支援団体として参加。留学生による「私と日本」の講演及び支援団体、大学担当者等と自己紹介し、留学生らと懇親会を行った。
独自の交流事業、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	長野県青年国際交流機構	12月15日(水)平成23年1月9日(木)1月25日(火)2月8日(火)2月17日(木)3月10日(木)	長野市バーンチェリー(タイ料理店)	会員10名(うち外国人2名)	2人		内閣府青年国際交流事業募集期間中に合わせ、帰国報告会、募集説明、講演会、学習会を企画打合せをした。
他団体の交流事業への参加、協力	長野県青年国際交流機構	平成23年2月24日(木)	長野市役所	会員2名 他団体20名		20人	長野市内で活動する各種国際交流団体が一堂に会し、活動内容等を発表試合、情報共有を図るとともに、各団体との連携を図るとともに、意見交換を行う。
他団体の交流事業への参加、協力	JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(長野県青年国際交流機構 共催)	平成23年3月5日(土)	長野市ふれあい福祉センター	定員20名		20人	「地球の料理教室」～南米大陸編～フジテレビとPRリアのア家庭料理。料理と共に、異文化の話&ひとくち会話なども行い、日常ではなじみのない未知の国を理解することを目的とする。
独自の交流事業、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	長野県青年国際交流機構	平成23年3月13日(日)	モリヤホール	定員50名		50人	第一部 内閣府青年国際交流事業参加者による帰国報告会と事業説明 第二部 トークショー(フューチャーホリスティックは外国人)、国際結婚、国際カップルのみなさん参加による思いやりディスカッション
内閣府青年国際交流事業	岐阜県青年国際交流機構	10月28(木)~31日(日)	岐阜市	110名		110人	「東南アジア青年の船」事業受入プログラム
その他	県教育委員会 社会教育課	平成23年1月22日	静岡県庁	2名		2人	中国浙江省を訪問した。静岡県中青少年友好団による活動報告並びに基調講演等。IYEO会員が実行委員の1人を務めた。
その他	藤枝市	平成23年2月20日	岡部宿大旅館 柏屋(体験棟)	11名 うち一般10名 外国人1名	1人	9人	親子のふれあいを目的とした親子ふれあいセンターのイベントにて、本場インドのスパイスが効いたチキンカレー作り。IYEO会員が企画運営を務めた。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	内閣府政策統括官(共生社会政策担当)、日本青年国際交流機構、(財)青少年国際交流推進センター、愛知県青年国際交流センター	7月31~8月1日	美浜少年自然の家	会員及び関係者22名、一般6名(うち外国人3名)	3人	3人	「交流からみつめる自分と、自分らしさの育て方。」のテーマの基に、基調講演、分科会等を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	(財)アジア保健研修所	10月11日	(財)アジア保健研修所	900名:5名			広く国際交流活動を広げるため、飲食ブースを出店した。
独自の国際交流事業	愛知県青年国際交流機構	10月16~17日	名城大学名駅サテライト	5名:14名、12名(3名)	3人	9人	愛知県教育委員会からの委託事業契約に基づく、「ちきゅう文化キャンプ」Round1の1泊2日キャンプにおける説明会及び子供たちの研修を行った。
広報、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	ワールド・コロパ・フォスタ 実行委員会	10月23~24日	栄:もちの木2木場、 オアシス21	78000名:5名			広く国際交流活動を広げるため、飲食&説明ブースを出店した。
他団体の交流事業への参加、協力	愛知県青年国際交流機構	11月21日	愛知コミュニティセンター	3名:8名、15名(3名)	3人	12人	愛知県教育委員会からの委託事業契約に基づく、「ちきゅう文化キャンプ」Round2の各国スポーツ体験を行った。
独自の国際交流事業	愛知県青年国際交流機構	12月29日	法照寺	8名:8名、20名(2名)	2人	18人	愛知県教育委員会からの委託事業契約に基づく、「ちきゅう文化キャンプ」Round3のMvカク作りを行った。
他団体の交流事業への参加、協力	国立大学法人三重大学	7月9日(金)18時30分~	三重大学内食堂	会員3名、三重大学側50名程度		50人	三重大学の国際交流パーティーに参加し、内閣府青年国際交流事業を広報するとともに、三重大学生や三重大学留学生との交流を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	岐阜県青年国際交流機構	10月29日(金)	岐阜県岐阜市	会員1名			岐阜IYEOが行う「東南アジア青年の船」事業受入事業に参加
他団体の交流事業への参加、協力	愛知県青年国際交流機構	12月18日(土)18時~	愛知県名古屋昭和区 松島町 法照寺	会員3名			愛知県青年国際交流機構が行うクリスマス会&忘年会&報告会に参加し、親睦を深めた。
他団体の交流事業への参加、協力	みえ市民活動 ボランティアセンター	12月19日(日)10時~16時	みえ県民交流センター	会員1名			団体活動ブースへの出展を行い、内閣府青少年国際交流事業の広報と、他のボランティア団体と交流を行った。
その他	三重県青年国際交流機構	平成23年1月30日(日)13時~	北田邸	会員3名			募集説明会及び帰国報告会について、蒲ツク大会について、全国大会について、総会へ向けて
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	7月13~17日	県内各所	実行委員:11名 外国人青年:24名			カンボジア、ドミニカ国の受入ディスカッションプログラム
独自の国際交流事業	滋賀県青年国際交流機構	12月26日	近江八幡市Gねつしが	会員5名 一般7名		7人	地元に住むブラジルの方から料理を教えていただいたり、各国にまつわるゲームなど。
他団体の交流事業への参加、協力	祇園祭山鉾巡行曳き手ボランティア実行委員会	7月14(水)~17日(土)	岩戸山町 (京都市下京区新町通 仏光寺下がる)ほか	会員6名、一般6名		6人	祇園祭の山鉾(今年は放下鉾を担当)を良く貴重な体験のほか、女性参加者による岩戸山鉾町の練り、山鉾巡行中の冷茶サービスも行われ、京都の伝統文化を享受する機会に恵まれた。
その他	京都府青年国際交流機構	9月26日(日)	京都市中京青少年活動センター	会員9名			レジュメを使い、龍安寺、上賀茂神社、錦市場など京都市内10か所を紹介。基本情報のほか、トピカルな情報や自身のガイド経験などを交えて分かりやすく、面白く解説してもらった。
内閣府国際青年育成交流招へい	大阪府 インターコミュニケーション大阪	7月17~21日	大阪府庁他				内閣府「国際青年育成交流」事業招へい
その他	大阪府青年国際交流機構	9月4日	堺市内を観光 HAMONミュージアム 大仙古墳 他	4名、0名(0名)			関西在住の会員に地元の産業についての理解をしてもらうことと、会員相互の親睦を深めることを目的とし実施
その他	大阪府青年国際交流機構	9月12日	NANIWAアイスクリーム 場	3名、1名(0名)		1人	大阪在住の会員に地域理解をしてもらうことと、スポーツを通して会員相互の親睦を深めることを目的とし実施
独自の国際交流事業	大阪府青年国際交流事業	10月16日	Captain kangaroo 大阪市北区	12(5)名	5人	7人	在阪外国青年複数名と歌、踊り、民族楽器等で音楽交流を実施し、各国の伝統音楽を紹介、演奏する。
内閣府国際青年育成交流招へい	大阪市青少年国際交流協議会(OYIF)	平成23年1月23~26日	大阪市役所 他	会員4名			「世界青年の船」事業ホームステイ受入れ
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	インターコミュニケーション大阪	平成23年2月5~6日	大阪国際交流センター 展示ブース	9名			関西で活躍する国際交流団体が一堂に集まり、それぞれの団体活動を紹介した。IYEOでは2日間わたってブースを出展事業説明会のPRを行う。
内閣府青年国際交流事業の	内閣府	10月28(木)~31日(日)	神戸市内	会員:7名 一般:14名		14人	「東南アジア青年の船」事業の受入れを、NPO法人神戸ユースネットと合同で実行委員会を作り、受入れを行なった。
事業報告会及び説明会、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	内閣府、日本青年国際交流機構、(財)青少年国際交流推進センター、 兵庫県青年国際交流機構	平成23年2月19(土)~20(日)	神戸ポートタワーホテル	会員:60名(1名) 一般:8名	1人	8人	平成22年度青少年国際交流を考える集い「近畿ブロック大会」を開催した。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	(財)神戸国際協力交流センター 神戸国際交流フェア2011 実行委員会	平成23年3月13日(日)11:00~17:00	テュドーム (JR神戸駅南地下)				第15回神戸国際交流フェアに、昨年に引き続き出展
他団体の交流事業への参加、協力	シルクロード財団	5月22日	NIFS 会議室	25名		25人	シルクロード財団に加盟している県内国際交流団体との情報交換会
他団体の交流事業への参加、協力	なら燈花会実行委員会	8月10日	奈良公園一帯	5名		5人	奈良の恒例行事である、なら燈花会がIYEOをPRするために当日運営スタッフとして参加した。
他団体の交流事業への参加、協力	シルクロード財団	平成23年3月5日	NIFS 会議室	25名		25人	今年度の内閣府派遣事業の募集説明会と帰国報告会を行う。
独自の国際交流事業	海友会	5月23日(日)	和歌山ビッグ愛9F青少年活動センター	28名:21名、7名		7人	坂本 達さんのDVD上映会を行った。会員や一般の方に更に国際活動への興味を持ってもらうため。
独自の国際交流事業	海友会	8月6(金)~15日(日)	オーストリア	10名:2名、8名		8人	「青年会活動コアリーダー育成プログラム」派遣、受入れをきっかけにオーストリア・日本青年交流事業を独自に計画。今年度はオーストリアへ10名の青年を派遣し、観光、視察、調査、ホームステイ事業を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	和歌山市	8月7(土)~8日(日)	和歌山市	48名:40名、8名(0名)		8人	和歌山を元気にする地域活動に賛同し、海友会dance team舞楽和(らぶわ)として、海友会の活動紹介のため参加した。
他団体の交流事業への参加、協力	World Happy Festival in YUASA 実行委員会	9月19日(日)	湯淺駅前	約80名:7名、約70名(約20名)	20人	50人	国際協力活動をされている方や、インドやネパールの方が出店されたり、各国のダンスや歌のステージもあり、国際色豊かなイベントで、海友会のPRを兼ねてフェアトレード商品の販売をした。
内閣府青年国際交流事業の	内閣府	10月28~31日	和歌山市	10名、60名(30名)		30人	「東南アジア青年の船」事業の受入れ
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	和歌山県人権啓発センター	11月13~14日	ビッグホール	10名、10700名(約100名)	100人		さまざまな活動をしている団体の紹介ブース、展示、発表など。写真展と活動紹介を行った。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	和歌山県国際交流センター	11月20~21日	ビッグ愛	1名、約400名(約160名)	160人	240人	国際交流イベントやインターナショナルカフェ、JICAさんと共にブースを設置。写真展と活動紹介を行った。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	和歌山大学大祭実行委員会	11月20~22日	和歌山大学	3名、約3000名(約50名)	50人		JICAさんと共にブースを設置。JICAフェアでフェアトレードコービー試飲、活動紹介とアンケート調査を行った。